

# 日刊 動労千葉

84. 11. 13  
No. 1791

## 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七・七二〇七

# 100名の大成功

11月10日に開かれた「11・10国鉄労働者集会」は、県教育会館大ホールからあふれ出る一〇五〇名の大結集を実現し、10万人首切り合理化粉碎、分割・民営化阻止にむけ、三里塚―国鉄を基軸に反動中曽根と対決する労働運動路線のもと、「60・3」を突破口に国鉄労働者の猛反撃をつくり出すことを確認し大成功をかちとった。

### くつきりと示された「三里塚を闘う労働運動」の前進と勝利

集会は動労千葉組合員はもとより、全国からかけつけた国鉄の闘う仲間がロビーにまであふれ出す大結集の中、18時ちょうど、片岡執行委員の力強い開会宣言で始まった。

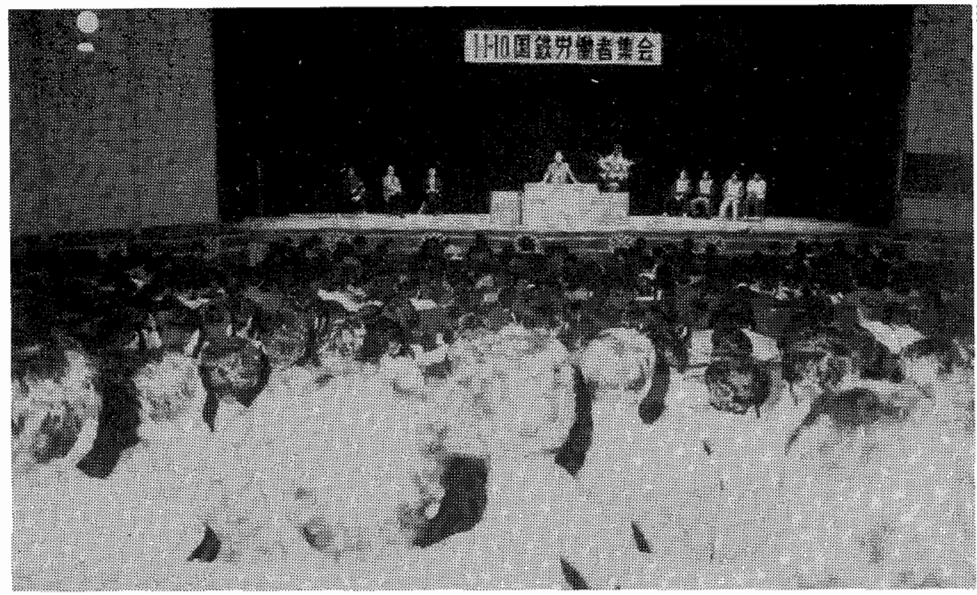
連帯の挨拶の最初に、三里塚芝山連合空港反対同盟の北原事務局長が立ち、「全国の闘う労働者、とりわけ国鉄労働者との共闘を一層強め、三里塚―国鉄において共に勝利しよう」と、三里塚を闘う労働者本隊の大結集を前に、勝利の確信に満ちあふれた訴えを行った。

続いて、動労ジェット闘争支援共闘会議代表世話人の浅田光輝氏が登壇し、「国鉄労働者―三里塚―破防法をめぐる状況は戦争体制準備の攻撃だ。これらに全面屈服し裏切っている動労革マルを反面教師として、われわれは座して死を待つのでなく権力と真正面から対決し勝ち進もう」と檄をとばした。

公労協の仲間からは、職場廃止攻撃と対決し日々闘いぬいている全通東京空港支部の岩本書記長が立ち、「60・3における空港支部の全面業務移管は、三里塚を闘う労働組合・支部つぶしだ。」「動労千葉に続け」を合言葉に支部の組織をかけて闘う一との断固たる決意を表明した。

全金本山労組からは、長谷、庄司両副委員長、青柳書記長、鈴木氏がかけつけ、代表して青柳書記長より、「今こそ三里塚闘争をはじめめまゆる政治闘争を闘う労働組合の総結集が問われている」との挨拶をうけた。

連帯の挨拶の最後に、全造船機械石川島分会の佐藤執行委員長が登壇し、「中曽根と最も鋭く対決しているのが三里塚と国鉄だ。ところが、動労・鉄労・全施労の右派三組合は『三本柱』で裏切り、労使一体で労働



臨調・行革粉碎!

三里塚ジェット闘争勝利!

# 『60・3』こそ、うたて出よう 決戦の

### 「60・3」突破口に、今こそ反撃へ!

― 布施書記長が基調報告 ―

淡路町空港反対期成同盟の永井満氏、北富士忍草母の会、婦人民主クラブ関東協議会からの檄電・メッセージが紹介され、会場の熱気が最高潮に達する中、布施書記長の基調報告に移った。

布施書記長は、第一に、「三本柱」をはじめ10万人合理化攻撃の本質が、戦闘的労働運動の解体を通じた侵略戦争体制構築の攻撃であること、第二に、「三里塚を基軸とした労働運動」路線に正義性と勝利の展望があること、第三に、当局の先兵「動労」本部―革マルの追放・一掃がなによりも求められていること、第四に、体制をかけた闘いとして国鉄―三里塚決戦に勝利すべく「60・3」に総決起する、の四点について鮮明に提起し、全参加者は圧倒的拍手でこれを確認した。（「基調報告」要旨は『動労千葉新聞』新年号に掲載予定）

### 「動労革マル打倒し、全国で総決起する」

― 第二の81・3を準備しよう ―

― 全国の仲間・動労千葉が決意表明 ―

いよいよ全国の国鉄労働者の決意表明だ。全国各地を代表する10名の仲間の登壇に、全参加者の熱い共感と連帯をこめたおしみなない拍手がおくられる。次々と発言に立った闘う国鉄の仲間は各々の実践にふまえた感動的闘いの報告を伝えた。とりわけ、「三本柱」をはじめ10万人首切り―分割・民営化攻撃に全面屈服し裏切った自民党・当局の先兵「動労」本部―革マルの打倒・一掃にむけ、動労千葉と連帯して闘いぬく決意が次々と明らかにされた。会場は割れんばかりの拍手と歓声につつまれ、三里塚―国鉄決戦に確信も固く総決起していくことを誓い合った。

最後に、主催者を代表して中野委員長がまとめと決意を述べた。中野委員長は、全国から予想を越える多くの国鉄の仲間が結集して集会が大成功を勝ちとった事を明らかにし、「この力を更に拡大強化し、第二の81・3を準備しよう」との力強い檄で締めくくった。全参加者は来るべき決戦への決意をこめた団結ガンバローをもって成功裡に集会を終了した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!